

海外日本語教師プロジェクト型研修

申請要領

1. 趣旨

日本語教材制作、教授法、カリキュラムの開発等のプロジェクトに自律的に取り組む日本語教師を対象に、必要な専門的な知識や技能の向上を図り、プロジェクトの完成を目指した研修を行います。同じプロジェクトに関わるチームでの参加も可能です。プロジェクト・チーム全体の人数は問いませんが、研修に参加できるのは1チーム上限3名までです。

2. プログラム概要

(1) 期間

2017年6月1日から2018年2月28日までの間の2週間～10週間

任意の時期・期間を選択することができますが、プロジェクト内容や日本語国際センターの受入の関係で、希望通りの時期・期間で採用されない場合があります。

(2) 実施場所

国際交流基金日本語国際センター（埼玉県さいたま市）

(3) 研修内容

研修参加者は、申請時に提出されたプロジェクト計画書にしたがって、個別指導を受けながら、課題解決に向けて活動を進めていきます。帰国後に、プロジェクトの進捗のレポートを提出することが求められます。さらに、最終的には、教材、カリキュラム、研究論文等として公表、出版することが期待されます。

(4) 採用予定プロジェクト数

2017（平成 29）年度：約 5 件

3. 申請資格

海外で日本語教育を行う教育機関。所属機関が異なる日本語教師がチームで申請する場合は、チームの責任者が所属する日本語教育機関。

日本語の母語話者、非母語話者を問わず、申請が可能です。

研修の参加候補者（チームの場合は、本研修の参加候補者全員）は、次に掲げる要件を全て満たしていなければなりません。

(1) 海外の申請機関と雇用関係にある日本語教師で帰国後も当該機関に引き続き勤務することが決定していること。チーム申請の場合、必ずしもチーム全員が同一国・地域の同一の日本語教育機関に所属していても構いません。

(2) 日本と国交のある国若しくは日本国籍を有すること。 ※台湾の方も申請可能です。

(3) 2016年12月1日時点で、満56歳未満であること。

(4) 心身ともに研修プログラムへの参加に支障がないこと。

(5) 2016年12月1日時点で、5年以上の日本語教授歴を持つこと（個人教授の期間は除きます）。

(6) 申請時点で日本語能力試験 N1 又は旧日本語能力試験 1 級程度以上の日本語運用力を有していること（日本語能力試験の各レベルの認定の目安は日本語能力試験公式ウェブサイトの「N1～N5：認定の目安」<http://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html> を参照）。

(7) 2016年4月から2017年3月までに国際交流基金や日本の大学等において2か月間以上、日本語教師研修（「海外日本語短期研修」を含む）を受講していないこと（受講予定を含む）。

※ 本研修はプロジェクトを自律的に推進できる方が対象です。プロジェクト立案や遂行のための知識が不足していると思われる場合は、まず「テーマ別研修」や「短期研修」に参加することをお勧めします。

※ 「テーマ別研修」「短期研修」と同時に申請することも可能ですが、採用される場合でも一つの研修のみ

4. 支給内容

- (1) 宿舎（国際交流基金日本語国際センター内のシングルルーム）
- (2) 研修期間中の食事（一部は現金支給）
- (3) 研修に参加するための必要経費（教材費等を現物で支給）
- (4) 研修参加に必要な期間中の疾病及び傷害に対する海外旅行保険の付保（補償額の上限あり。既往症や歯科治療等は当該保険の適用対象外）。
- (5) [表 1]に掲げる地域にある申請機関に所属する方については、以下ア～ウを国際交流基金が負担します。
[表 1]以外の地域、及び例外欄に記載のある地域に所属機関がある方は、参加者本人の負担となります。
ア 往復航空券（エコノミークラス割引運賃、居住地最寄り国際空港発着）
イ 出国税・空港利用税
ウ 研修補助費（来日中の自主研修に必要な公共交通機関の交通費等を現物で支給）

[表 1]

地域	例外の国・地域
アジア・大洋州地域	ただし、韓国、香港、マカオ、台湾、シンガポール、ブルネイ、オーストラリア、ニュージーランドを除く。
中南米地域	ただし、セントクリストファー・ネイビス、トリニダード・トバゴ、バハマ、バルバドスを除く
東欧地域	（例外なし）
中東・北アフリカ地域	ただし、アラブ首長国連邦、イスラエル、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、バーレーンを除く
アフリカ地域	（例外なし）

5. 審査方針

- (1) 以下のような観点から審査します。
ア 当該国・地域での日本語教師研修の必要性
イ 候補者の当該国・地域での日本語教育界におけるポジション、影響力
ウ 候補者の日本語運用力、申請しているプロジェクトの遂行能力等
エ 申請機関が「さくらネットワーク」の認定機関であるか
「さくらネットワーク」については、以下のウェブサイトをご参照ください。
<https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/education/network/>
- (2) 計画書に記載されたプロジェクトの実現性が高い申請（例：教材・カリキュラムの開発について既に準備が始まっている等）は、優先順位が高くなります。

6. 申請手続

(1) 申請書類

申請に必要な書類は、以下ア～イのとおりです。書類一式の原本とそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんので注意してください。

ア 申請書

イ 申請プロジェクトに関わる試作物（①シラバス・カリキュラム開発、教材のプロジェクト：シラバス・カリキュラム・教材の一部、②その他のプロジェクト：目指す成果物の部分的な試作物）

なお、研修参加候補者の所属しているさくらネットワークメンバーが日本語教育機関以外の教師会や学会等の団体の場合には、研修参加候補者がさくらネットワークメンバーの団体に所属していることの証明書（さくらネットワークの団体が作成したもの）を申請書に添付してください。

(2) 申請書提出先と締切

2016年12月1日（必着）までに、最寄りの国際交流基金海外拠点、又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、（公財）交流協会の台北事務所に提出してください。e-mailやFAXでの提出はお受けしておりません。

(3) 留意事項

ア 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。

イ 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。

ウ 提出された申請書類は返却いたしません。申請書を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。

エ 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

7. 結果通知

(1) 国際交流基金日本語国際センターで審査を行い、2017年4月中に結果を各申請者に通知します。

(2) 採否理由等についてのお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

8. 研修参加者の義務

研修参加者は以下の条件を守らなければなりません。

(1) 日本滞在中は日本国法令を守ること。

(2) 研修に専念し、日本滞在を他の目的（宗教的あるいは政治的目的等）に利用しないこと。

(3) 研修参加者は、集団での研修に参加することを前提に日本の公的機関に招へいされたことを理解し、国際交流基金日本語国際センターの指示に従って、全ての研修活動に参加すること。

(4) 研修期間の開始より前に来日しないこと。

(5) 研修期間中に一時帰国や第三国への旅行をしないこと。

(6) 国際交流基金日本語国際センターが滞在延長を許可した場合を除き、研修期間が終わり次第、直ちに帰国すること。

(7) 家族を同伴しないこと。

9. 事業に関する情報の公開

(1) 採用された場合、申請者・団体の名称、事業の概要等の情報は、国際交流基金事業実績、年報、ウェブサイト等において公表されます。

(2) 「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」（平成13年法律第140号）に基づく開示請求が国際交流基金に対してなされた場合には、同法に定める不開示情報を除き、提出された申請書類は開示されます。

10. 個人情報の取扱い

以下の内容を、申請機関から候補者にお伝えくださいますようお願いいたします。

(1) 国際交流基金は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第59号）を遵守し、個人情報を取り扱う際には、適正な収集・利用・管理を行います。国際交流基金の個人情報保護への取組については、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.jpf.go.jp/j/privacy/>

(2) 申請書及び添付書類に記入された情報は、採否審査、事業実施、事後評価等の手続のほか、次のような目的で利用します。これらの個人情報の利用については、申請機関より候補者にもお知らせくださるようお願いいたします。

ア 研修参加者の氏名、性別、職業・肩書、所属先、事業期間、事業内容等の情報は、研修実施案内に公表するほか、国際交流基金の事業実績、年報、ウェブサイト等の公表資料への掲載、統計資料作成に利用されます。また、国際交流基金事業の広報のため、報道機関や他団体に提供することがあります。

イ 採用者の居住する国の日本国大使館・総領事館等の在外公館及び日本国外務省にも、査証発給のため、これらの情報を提供することがあります。

- ウ 申請書、添付書類及び事業報告書・成果物などは、採否審査、事後評価等のため、外部有識者等の評価者に提供することがあります。提供する際、評価者の方には、個人情報の安全確保のための措置を講じていただくようにしています。
- エ 事業終了後に、本件事業に関するフォローアップのためのアンケートをお願いする場合があります。
- オ 記入される連絡先に、他の国際交流基金事業についてご連絡を差し上げることがあります。
- (3) 国際交流基金に提出された事業報告書・成果物などは、国際交流基金事業の広報のため、公開することがあります。
- (4) 研修実施のため、渡航手配や研修プログラムに協力を得る関係者(保険会社及びその代理店、航空会社、自治体等)に、必要な範囲で情報を提供します。
- (5) 本研修に応募された方は、上記目的での個人情報の利用に同意したものとみなします。

11. 問合せ先

日本語国際センター教師研修チーム Tel. +81-48-834-1182 Fax. +81-48-834-1170

e-mail: urawakenshu@jpf.go.jp

*申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。

<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>

申請書作成上の注意**全体的な注意事項**

1. 申請書のフォーマットは、次のウェブサイトから入手可能です。申請書は全部で9ページです。
<http://www.jpf.go.jp/j/program/index.html>
2. 申請書の原本及びそのコピー1部を、それぞれホッチキス留めをして、提出してください。申請書に不備がある場合は、審査対象とはなりませんのでご注意ください。
3. 最寄りの国際交流基金海外拠点又は日本国大使館や総領事館等の在外公館に提出してください。台湾は、(公財)交流協会の台北事務所に提出してください。e-mailやFAXでの提出はお受けしていません。
4. 申請書の提出期限は2016年12月1日(必着)です。できる限り余裕を持って提出するようにしてください。
5. 提出された申請書類は返却いたしません。申請書を提出する際には、必ず申請者用のコピーをお手元に残しておいてください。
6. 申請書の受理通知を希望する場合は、はがきに返信用切手を添付の上、住所、氏名、プログラム名、受理通知を希望する旨を記載して、申請書に同封してください。国際交流基金海外拠点若しくは日本国大使館や総領事館等の在外公館の担当者が申請書を受理したことを証するために、署名して返送します。ただし、返信用切手が貼っていないもの、必要事項が記載されていないものは返送できませんので、ご注意ください。
7. 申請書類提出後、記入内容に変更が生じた場合には、速やかにお知らせください。

申請書記載要領

1. 申請書はタイプ又は黒のボールペンを用いて活字体で記入してください。
2. 申請書は、「英語」や「原語」等の指示があるところ以外は日本語で記入してください。また、記入にあたって「候補者」部分は、候補者が他の人の助けは借りず、自分の力だけで書いてください。
3. 研修参加候補者の所属しているさくらネットワークメンバーが日本語教育機関以外の教師会や学会等の団体の場合には、研修参加候補者がさくらネットワークメンバーの団体に所属していることの証明書(さくらネットワークの団体が作成したもの)を申請書に添付してください。

海外日本語教師プロジェクト型研修プログラム
申請書

2017 (平成 29) 年度用
For FY 2017

Project-based Training Program for Teachers of the Japanese-Language
Application Form

申請書を国際交流基金の海外拠点又は日本国大使館や総領事館等の在外公館にご提出ください。台湾所在の機関は(公財)交流協会の台北事務所にご提出ください。国際交流基金本部・附属機関では海外からの申請を受け付けません。インターネットやe-mailによる申請書の提出は受け付けません。申請書は、活字体でご記入ください。なお、申請書に記入される個人情報の利用目的については、申請要領の「10.個人情報の取扱い」をご覧ください。

Applications should be submitted to the Japan Foundation office in your country or Japanese diplomatic mission. In Taiwan, applications must be submitted to the Interchange Association, Japan, Taipei office. The Japan Foundation Headquarters in Tokyo and affiliated organizations will not accept applications from overseas applicants. Applications will not be accepted through the Internet or by e-mail. This application form should either be printed or written in block letters. For details on the use of personal information included in the application form and attached documents, please see "10. Handling of Personal Information" in the Application Instructions.

国際交流基金日本語国際センター所長殿
To the Director of the Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

年 月 日
Year Month Day

私は平成 29 年度海外日本語教師プロジェクト型研修に下記の者を参加させたく申請いたします。
I hereby elect the person named below to participate in the 2017-2018 Project-based Training Program for Teachers of the Japanese-Language.

機関名 _____ 代表者署名 _____
Name of Institution Signature of the Representative of the Institution

代表者氏名 _____
Name of the Representative of the Institution

候補者 (以下は候補者が記入のこと)
CANDIDATE (The following form should be filled in by the candidate)

氏名 Name	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana	姓	名				
	ローマ字 In Roman alphabet	Last Name	First Name				
	パスポートに記載の表記 Name as written on your passport in Roman alphabet						
性別 Sex	生年月日 Date of Birth	19 年 月 日 Year Month Day	年齢 Age	2016年12月1日現在 As of December 1, 2016	国籍 Nationality	歳	
連絡可能な住所 (ローマ字) Contact Address (in Roman alphabet)							
Tel.		FAX.		e-mail			
	所属日本語教育機関名 Affiliated Institution	部門名 Faculty/ Department/ Program etc.		地位 Position	専任/非専任 Full time or Part time		
	漢字又はカタカナ In Kanji or Katakana						
	英語 In English						
	原語 In Native Language						
所属日本語教育機関住所 Address of Affiliated Institution							
Tel.			FAX				

機関 ID:
ID of affiliated institution:

※日本語教育機関検索データベース (<https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index>) にて所属機関の機関 ID を確認の上、記入してください。
所属機関が同データベースへ未登録の場合は記入不要です。
*The ID of affiliated institution can be found on the "Search engine for institutions offering Japanese-language education" (<https://jpsurvey.net/jfsearch/do/index>).
No need to fill this column if your affiliated institution is not registered on the "Search engine".

学士 BA	機関名 Name of institution				取得地 Location	
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred		専攻 Major	
修士 MA	機関名 Name of institution				取得地 Location	
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred		専攻 Major	
学位取得論文タイトル Thesis title						
博士 Ph. D	機関名 Name of institution				取得地 Location	
	取得年 Year of completion		学位 Degree conferred		専攻 Major	
学位取得論文タイトル Thesis/dissertation title						

さくらネットワークに所属していますか?
Do you belong to organizations of the **Sakura Network**?
For "Sakura Network", please visit the following website; <https://www.jpff.go.jp/j/project/japanese/education/network/> (Japanese)
<https://www.jpff.go.jp/e/project/japanese/education/network/> (English)

はい Yes
⇒ さくらネットワークメンバー (機関、団体) 名: _____
Name of the Sakura Network member
(institution, organization, etc.): _____

いいえ No

日本語の母語話者である申請者は*印の欄に記入する必要はありません。
Applicants who are native Japanese speakers need not fill in the columns with*

	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
*日本語学習歴 Previous Japanese language study	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
日本語教師研修受講歴 (国際交流基金での研修を含む) Participation in training programs for Japanese language teachers, including programs of the Japan Foundation	期間 Term	総時間 Total Hours	機関名 Institution	使用教材 Textbook
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)~ To 年(yy) 月(mm)			

日本語教授歴 Japanese language teaching experience	期間 Term	機関名 Institution	対象者 Students in class		使用教材 Textbook
			年齢 Age	レベル Level	
合計 In total	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)				
年 か月 Years Months	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)				
教授歴が5年未満の方は 申請資格がありません。 <u>Those who more than five years of experience teaching Japanese language are eligible</u>	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)				
現在の担当科目 Japanese classes currently taught	科目名 Subject Taught	対象者 Students in class		担当時間数 (週・年) Loading Hours Week/Year	使用教材 Textbook
		年齢 Age	人数 Number		
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	
日本語以外の担当科目 Subjects currently taught aside from Japanese				週 () 時間 (per week) 年 () 時間 (per year)	

*日本語能力試験 Japanese-Language Proficiency Test (JLPT)		受験年 Test Year	JLPT 取得級 Passing Grade(Level) <input type="checkbox"/> N1 <input type="checkbox"/> 1 級 <input type="checkbox"/> N2 <input type="checkbox"/> 2 級 <input type="checkbox"/> N3 <input type="checkbox"/> 3 級 <input type="checkbox"/> N4 <input type="checkbox"/> 4 級 <input type="checkbox"/> N5	認定番号 Certificate Number
日本滞在歴 Previous stay in Japan 留学の場合は、所属機関 を明記してください。 If you have studied in Japan, be sure to specify the name of institutions.	期間 Term	日数 Days	滞在目的・受けたグラント・当センター研修等 Purpose; Grant Received, Training Programs at the Institute (if any)	
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
	From 年(yy) 月(mm)～ To 年(yy) 月(mm)			
日本語教育の分野における授業以外での活動 (例：開発した教材、日本語教育についての学会・ セミナー発表、日本語教師会等での活動歴等) Your contribution to Japanese language education outside of class activities (For example, teaching materials that you have developed, papers on Japanese language education that you have presented at academic conferences or seminars, your involvement in the Association of Japanese Language Teachers or other activities, etc.)		1. 2. 3.		

計画書 (1)
Project Plan (1)

プロジェクトテーマ Theme of the project	日本語 In Japanese	
	英語 In English	
	種別 Category	<input type="checkbox"/> シラバス・カリキュラム開発 <input type="checkbox"/> 教材開発 <input type="checkbox"/> その他 Syllabus & Curriculum Development Resource Development Others ()
希望訪日研修時期 Proposed Term	From: 年(yy) 月(mm) ~ To: 年(yy) 月(mm) 期間 (週間) *2017年6月1日から2018年2月28日までの間の2週間~10週間 Two to ten weeks during the period from June 1, 2017 to February 28, 2018	

※プロジェクトテーマが、シラバス・カリキュラム開発、教材開発の場合、以下を記載して下さい。

使用される言語 Language Used	
対象となる学習者 Target Learners	<input type="checkbox"/> 初等教育 <input type="checkbox"/> 中等教育 <input type="checkbox"/> 高等教育 <input type="checkbox"/> 成人 Primary Education Secondary Education Higher Education Adult Education
年齢層 Age of Learners	
国籍 Nationality	
母語 Mother Tongue	
日本語学習目的 Purpose of Learning Japanese	
日本語学習段階 Level of Japanese	<input type="checkbox"/> 入門 A1 <input type="checkbox"/> 初級 A2 <input type="checkbox"/> 初中級 A2/B1 <input type="checkbox"/> 中級 B1 <input type="checkbox"/> 中上級 B1/B2 <input type="checkbox"/> 上級 B2 Starter Beginner pre-intermediate Intermediate Upper-intermediate Advanced

プロジェクト概要

以下について、簡潔に（300文字程度）記載してください。

- ・シラバス・カリキュラム開発、教材開発のプロジェクトの場合は、最終制作物の具体的な内容（構成、目次、既存教材にはない特色、あなたの現場の問題解決を図る工夫など。）
- ・その他の課題解決プロジェクトの場合は、具体的な課題の内容、解決のための具体的に何をするために、何をやるのか

計画書(2)
Project Plan (2)

1. プロジェクトの目的と必要性 (そのプロジェクトを行うことによりあなたの国・地域の日本語教育についてどんな課題が解決できるのか)

(1) シラバス・カリキュラム開発、教材開発が研究テーマの場合、今あるシラバス・カリキュラムや教材の何が問題なのかを具体的に書いてください。そのほかの研究テーマの場合、「概要」より詳細に、現在の課題について述べてください

(2) あなたが作ろうとしているものは(1)の問題をどのように解決できるのか具体的に書いてください。

2. プロジェクトの方法 (シラバス・カリキュラムや教材の開発手順、調査の方法、データの種類、分析方法など)

計画書 (3)
Project Plan (3)

3. 具体的な成果物の開発までのプロジェクト計画

申請時の進捗状況	
来日前 年 月～ 年 月	
訪日 (研修) 中 年 月～ 年 月	
訪日 (研修) 後 年 月～ 年 月	

4. 上記計画を実現する上で本研修に参加する必要性及び必要と考えられる助言・指導

5. 成果物の公表方法 (予定) 及び期待される効果

6. 他にプロジェクト・メンバーがいる場合、他のメンバーの名前、所属機関、役職など

日本語教育の分野における過去の業績（論文、学会・セミナー等での発表原稿、作成した教材やカリキュラム等）があれば、そのうち代表的なもので、かつ、なるべく今回の計画に関係のあるものを2点上げて、その概要・要旨をそれぞれ400字程度で記入してください。（概要・要旨については、別紙での添付も可。）

Outline two academic achievements you have made in the field of Japanese language education. If possible, demonstrate how these achievements are related to the project in this application. Academic achievements may include an academic paper, draft paper on Japanese language teaching for academic meetings or seminars, teaching materials or a curriculum you have developed, etc. Write an outline of these achievements in Japanese (around 400 characters) in the space below or on a separate attached sheet.

題名 Theme :

概要・要旨 Outline

〔論文・研究発表の掲載誌・学会名等 :
Title of Journal /Title of Academic Conference

発表年 :]
Year

題名 Theme :

概要・要旨 Outline

〔論文・研究発表の掲載誌・学会名等 :
Title of Journal /Title of Academic Conference

発表年 :]
Year

申請機関の概要 Outline of the Institution

できれば機関の紹介パンフレットなどを添付してください。

Please attach some general information on your institution (introductory brochure, etc.).

機関及び日本語コースの設立の経緯と歴史 History of the Institution and Japanese Language Course
日本語コースの概要（修学年限、週当たり授業時間数、学習者数等を記入してください。） Outline of Japanese Language Course (state the length of the course, hours of study per week, the number of students)
学年暦（授業の開始月、終了月及び学期区分を記入してください。） Term / Semester (state the beginning and end months of each term or semester)

学生の構成 Attributes of Students

A か B のいずれかを選び、に印を付けてください。 Please choose **A or B** and check all appropriate boxes.

A. 学校教育の場合 Formal Institutional education

- 小学生 Primary-school students
 中学生・高校生 Secondary-school students
 大学 University/College students

B. 学校教育以外の場合 Education other than formal institutional education

- 年少者(小・中・高校生を含む) Children
 成人(大学生含む) Adults

日本語教育スタッフ（候補者を含め全員記入してください） Staff of Japanese Language Course, including the candidate.

氏名 Name	地位 Position	専任・非専任 Full-time or Part-time	年齢 Age	日本語 教授年数 Years of experience as a Japanese language teacher	対象者数 Number of students	週当たり 時間数 Hours per week	年時間数 Hours per year	国際交流基金 研修参加年 Year of participation in JF program, if applicable

